



会報



う め

DISTRICT 253
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 P.M 12:30—1:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 5775

会 長 鈴木 弥 一 郎
幹 事 中 江 亮

Service. I believe in Rotary.

奉仕・ロータリーを私は信奉する。

第 899 号 1977. 3. 22 (火) (曇) No.33

— 本日のプログラム —

1. 点 鐘
2. ロータリーソング (我等の生業)
3. ゲスト・ビジター紹介
4. 会長報告
5. 幹事報告
6. 委員会報告

I.C.G.Fの報告～モデレーター 小松広穂君

I.C.G.Fの報告～安藤定助君

I.C.G.F報告～三浦会報委員長

7. 出席報告
8. スマイル

小池繁治君、板垣広志君、上野三郎君のお子さん達の入学を祝して

■ゲスト・ビジター紹介

滝 禪源君一立川 R・C

■会長報告

- ① 前例会にて挨拶がありました鶴岡ローターアクトクラブ代表3名と当クラブ阿部襄君及び市川君と一緒に 第370地区ローターアクト研修会に元気に18日の「天の川」で出発されました。
- ② 当クラブから留学生として先般御挨拶のありました小池志保さんは去る18日「いなほ1号」にて元気に出発されました。御無事を御祈り申し上げます。
- ③ 昨日 R・I 第353地区庄内分区の I・C・G・F が八幡ロータリーのホストにて八幡公民館に於て平松ガバナーも出席され、フォーラムリーダーは庄司パストガバナー、副フォーラムリーダー桜井分区代理、アドバイザーとして当クラブの三井先生、張先生の下に開催されました。

当クラブはすでに皆さん御承知の通り 本年度 R・I 会長の最も重点目標として考えられて居る職業奉仕部門を担当致しまして小松職業奉仕委員長がモデレーターとして立派にその責務を果たされました。後程小松委員長より御報告御願ひ致します。

クラブ奉仕 A の出席の問題については欠席の多い会員を集団で車にて近隣クラブにメークする等の酒田東クラブの報告等がありましたが、ガバナーの総評では結論は会員の意気込みによる。目標として93%位までは努力して欲しいと云う考えでした。プログラムの問題については、温海クラブの移動例会による楽しい食事、趣味と教養を考えた例会前に麻雀、囲碁等を楽しめるようにする、無差別に座席をきめる等の報告、又性に関する話を折り込む等の変った報告もありました。

クラブ奉仕 B、会報では当クラブの会報委員長三浦君の明快なる御説明有り難度う御座いました。

社会奉仕、国際奉仕については当クラブの安藤会員の蘊蓄の深い報告があり、深く感謝申し上げます。後程御報告御願ひ致します。

尚当クラブよりは13名の会員の方々がこのフォーラムに御参加頂き、祭日にも拘らず御研修誠に有難度う御座いました。

＜庄司フォーラムリーダーの講評＞

欠席又は退場者も無く大変成績のよいフォーラムであった。更に出席率の向上、会員増強について一段と協力して欲しい。又各クラブの発表は良好であった。次年度の I・C・G・F は立川にて。

■幹事報告

- 会報到着～藤沢、石巻東 R・C
- 事務所移転～D-356、高田、高田東 R・C
 〒 上越市西域町 1-2-24 新潟県細巾織物協組内 TEL (0255) 25-6524
- 10周年記念式典案内～仁賀保 R・C
 4月24日(日) 仁賀保運動公園会館 A.M 11:30より
- 20周年、10周年記念合同式典案内～新発田、新発田城南 R・C
 5月22日 A.M 11:00 新発田体育館 @ 8,000

■委員会報告

＜職業奉仕部門モデレーターを担当して＞

小松 広穂 君

今回は3つのテーマがありその第1は「地区職業奉仕強調デーの有効なプログラムは何か」と言うことでした。本年度は R・I 会長並びに地区の方針として職業奉仕部門に特に

力を入れると云う事で、すでに地区として今回のフォーラムの為に具体的な8つの計画が指示されていたので各クラブから発表して貰ったが、その内で立川クラブは発足後日も浅いのに会員の職業スピーチを12回もやっている。又鶴岡西クラブでは会員の中の優良従業員を例会に招待して懇談している等は特に感銘を受けた。当クラブは職業スピーチ8回、会員の職場見学1回だけだったのでもっとやらねばならないと思いました。

第2のテーマは「職業に品位あらしめるにはどうしたら良いか」。第3のテーマは「職業奉仕の道徳倫理について」でこの2つのテーマは一括して討論した。

ロータリーの友12号に R・I 会長の今日の職業倫理についてリーダーシップの発揮を求むの副題をつけた大論文がのせられていたのでこれを討論の対象に取り上げたが、酒田東クラブの会員が具体的に本当に自分の身につけた解明をされたので感心しました。

参加者全員に発言して貰いたいと考えたのでフォーラムリーダーの庄司先生に「今日の職業倫理」について5分間位で解説していただき度いと云ったところ、それは参加者の中から引き出すのが本当だと云う事でうまく逃げられた格好でしたが、会員の中から積極的な発言もあって盛りあがったフォーラムになりました。

R・I 会長の論文の内に 最近イギリスのある地区でロータリーアンに対してアンケートが行なわれたうちで、企業が100%競争力を持つ為には100%倫理的ではいられないと云う答が出て来たとして書いてあるが、R・I 会長はこれに対して明確な返答はしていない。私共が商売をしているがこの事は常に考えていた事だったので平松ガバナーに質問しましたが昔から言われている共存共栄と云う言葉が一つの答ではなかろうかとの事でした。

職業奉仕は各人が物事を判断し、決定を下す場合に当然やらねばならない道徳的問題が多分に含まれていて、しかもそれが絶対的なものがないところにむずかしさがあると考えます。

次にこれもロータリーの友に紹介されていますが酒田大火の際に、大災を小災に喰い止められた酒田東クラブの職業奉仕委員長の小川氏（東北電力酒田営業所長）の記事が載っています。酒田東クラブでは小川氏に対して感謝状を贈呈されましたが深い感銘を受けました。

<インターシティー・ゼネラル・フォーラム報告>

安藤 定助 君

私は主として国際奉仕部門を担当し、創立以来皆様が活発に活動して来られた実績及び経験を中心に答え、又参考事項を提言しました。国際奉仕部門のテーマは I・C(インターアクト)、R・A・C(ローターアクト)、W・C・S(世界社会奉仕)の3つでしたがW・C・Sは除き他の2つを重点に進められ、庄内分区では I・C は当クラブと西クラブ、R・A・C は当クラブのみで他クラブの今後の提唱に参考となるよう次のように提唱の経過と問題点を述べました。

① 提唱経過

鶴岡西高 I・C……英文書の翻訳や本人の海外研修等で当クラブと関係深く R・C に深い理解をもつ同校英語教師を中心に提唱を進めた。

鶴岡高専 I・C……同校々長が会員で I・C の同校への導入に情熱的な努力をされ提唱設立となった。

鶴岡工高 I・C……交換学生の受入れ、学校独自の校長以下教師 2 名、生徒 6 名の海外研修、前記鶴岡西高 I・C 創立に活躍された英語教師が転任在籍し校長の理解と共に R・C の提唱を積極的に受け入れ、更に海外研修の生徒が中心に自主的に創立に努力した。

鶴岡 R・A・C……会員の山形大学名誉教授 阿部 襄君が早くより活動しておられたユネスコの O・B、荘内病院看護学院の女性を中心に一般職場の青年女子に呼びかけ会員の職場からも参加をすすめ提唱設立した。

② 提唱運営の問題点

(1) 高校には県教委、国立校には文部省の諸般の制約があり、又各校の教師職員の性

格、校内各クラブとの関係等、慎重な配慮と連繫をとり乍ら提唱しないと問題が起る。

- (2) R・A・Cに於てはその会員の職場、勤務等に充分な関心と配慮をしないとR・A・C活動には熱心な青年、女子も職場に於ける不利をまねくこともある。R・A・C活動と職場の欠勤、早退等十分考慮の要あり又職場の責任者、管理職の方を行事等に招待し理解を深める要もある。
- (3) I・C、R・A・C運営上の2大ルールは定款、細則及びR・I理事会声明であるが現況厳しく制約されている事項、例えば資金援助の禁止、例会にロータリアンの出席義務等守られていない点があり、又その通りには運営不可能な面もあるのでこれ等については地区ガバナーに於て明確に統一して適用、応用範囲を指示される必要がある。
- (4) I・C、R・A・Cは次第に増設されつつあることは同慶の至りであるが各クラブ上記2大ルールを適当に応用し、バラバラの運営になりつつあることは地区大会その他指導者会議で明らかに知れるところで、地区に於て各クラブ運営の内容を掘り下げて問題点をチェックし計画を立てられないと重大な問題が起きるおそれがあります。

主テーマについては以上のような発言をし、その他の部門特に青少年部門については次の提案をしました。

各クラブ地域に新たに青少年奉仕の活動を起こそうとするのは仲々容易でないことで、現在ボーイスカウトについては鶴岡、酒田、余目、立川、温海夫々R・C地区にあって種々運営上困っている問題もあり、又高校生や一般社会の青少年の中にボランティア活動を行っているグループもあり、盲学校、特殊学級等青少年の諸施設もあるので先ずこれ等の実態を把握し、援助活動を行なうことが青少年奉仕の近道ではないだろうか。

<インターシティ・ゼネラル・フォーラムに出席して> 会報委員長 三浦 悌三 君

3月21日(火)春分の日八幡町で行われたフォーラムに出席して参りましたので会報に關する部分について御報告致します。テーマは“会報の発行はどうすれば良いか”と云うものでした。編集、発行の方法、経費等について当クラブでの現状を報告致しました。他クラブからそれぞれ報告が行われましたが、特異なものは見当らなかったように感じました。

私は会報発行についてもっと悩みが多く、各クラブの報告の後にモデレーターより話があるものと思っていたので少々がっかりした次第です。只私が特にうらやましいと思ったのは、或るクラブで広告をとり会報に載せたこと、人物往来などの記事を載せてスマイル(自主的に)をしていると聞いた時です。

会報は記録となることは勿論であるが、読まれるものでなければなりません。そのためには会員の皆様が会報委員会に対し進んで原稿を提出して頂くことと、会報の企画に対して全面的に協力して頂くことが会報をより良くする手暇ではないかと思いました。

尚フォーラムの形として会報の場合に限って云えば出来るだけ分科会としてもう少し突っ込んだ話がしたかったと思います。以上フォーラムに出席したことについて私が受けた印象を主体としてこの報告にかえます。

■出席報告

本出 日の 席	会 員 数	71名	欠 席 者	阿部(公)君、阿部(襄)君、五十嵐(三)君、市川君、板垣(俊)君、黒谷君、嶺岸君、三井(徹)君、森田君、小野寺君、齋藤(栄)君、佐藤(伊)君、佐藤(衛)君、佐藤(友)君、佐藤(正)君、鷲田君、内山君、高橋(正)君、金沢君、高橋(良)君、津田君、上野君、藪田君、中村君、諸橋君
	出 席 数	46名		
	出 席 率	64.79%		
前出 回 の 席	前回出席率	78.86%	メ ア ッ ク ブ	佐藤(衛)君、内山君一鹿児島西R・C 笹原君一仙台R・C 石倉君一酒田R・C 阿部(公)君、玉城君、中野(清)君、横山君、富樫君一鶴岡西R・C 三浦君、板垣(広)君一八幡R・C 早坂君一白鷹R・C
	修正出席数	68名		
	確定出席率	95.77%		